

機械器具 58 整形用機械器具
一般医療機器 脊椎手術用器械 70963001**BONIMED ロッドカッター****【禁忌・禁止】
〈併用医療機器〉**

当社指定以外のインプラント及び手術器械と併用しないこと〔相互作用の項参照〕。

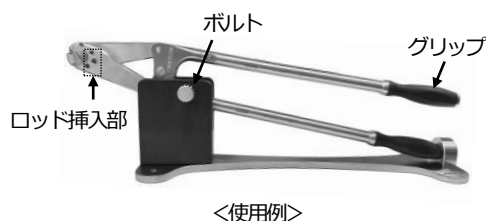
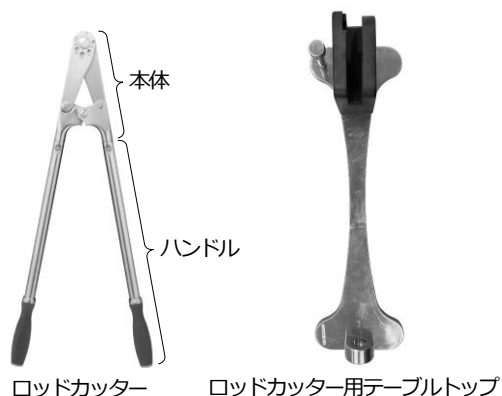
【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本品は、ロッドカッター及びロッドカッター用テーブルトップから構成される。

2. 形状

代表的写真



3. 原材料

ロッドカッター：ステンレス鋼、シリコン、PTFE
ロッドカッター用テーブルトップ：ステンレス鋼、アルミニウム

4. 原理

ロッドカッターのハンドルを閉じることにより、挿入されたロッドを切断する。

【使用目的又は効果】

脊椎固定術等の脊椎手術のために用いる再使用可能な手動式の手術器械である。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

- 1) 使用前に必ず洗浄及び滅菌を行う。各医療機関等でバリデーションされた滅菌方法及び滅菌条件を用いる。
（【保守・点検に係る事項】参照）
- 2) ロッドカッター本体のピンを押さえ、ハンドル側との嵌め合うようにハンドルを接続する。
- 3) ロッドカッター用テーブルトップを使用する場合は、平らで固く安定した場所に置き、ロッドカッターをセットしてボルトで固定する。

2. 使用方法

- 1) ロッドカッターのハンドルを開いてロッドを挿入し、切断したい箇所に合わせる。
- 2) ロッドがずれないように両端を把持しながら、グリップを握ってハンドルをゆっくりと閉じ、ロッドを切断する。

3. 組み合わせて使用する医療機器

「販売名：Mont Blanc MIS スパイナルシステム、承認番号：30100BZI00011000」の構成品であるストレートロッド又はプリベントロッドと併用できる。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 使用前の点検において、手術に必要な器具が全て揃っていることを確認すること。
- 2) 本品は未滅菌のため、使用前に必ず【保守・点検に係る事項】の項を参照して、洗浄及び滅菌を行うこと。
- 3) 使用前に本品を目視検査し、異常が認められる場合は使用しないこと。
- 4) 使用前に本体とハンドルが確実に接続されていることを確認すること。
- 5) 本品は必ず術野外で使用する。患者の体内及びその周囲では使用しないこと〔組織や神経の損傷、骨折等のおそれがある〕。
- 6) ハンドルの開閉時は、可動部に使用者の手指等が挟み込まれないよう十分注意すること。
- 7) 本品に急激な力や過度な力を加えないこと。
- 8) ロッド挿入部に表示されている外径が、併用するロッドの外径と適合していることを確認すること。
- 9) ロッドは、ロッド挿入部に確実に挿入されていることを確認してから切断すること。
- 10) ロッドカッター用テーブルトップを使用しない場合は、ロッドを水平に把持した状態で切断すること。
- 11) 本品がハイリスク手技に使用された場合には、プリオン病感染予防ガイドラインに従った洗浄、滅菌を実施すること。（【保守・点検に係る事項】参照）
- 12) 本品がプリオン病の感染症患者への使用及びその汚染が疑われる場合には、製造販売業者又は貸与業者に連絡すること。
- 13) 使用後は速やかに洗浄及び滅菌を行い、清潔な場所で保管すること。

2. 相互作用

併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
当社指定以外のインプラント	正常な機能が得られないおそれがある	適正な固定が得られない

3. 不具合・有害事象

1) 重大な不具合

- ・破損、変形、腐食、変色、屈曲

2) 重大な有害事象

- ・アレルギー反応
- ・感染
- ・神経損傷
- ・硬膜損傷（髄液漏）
- ・周辺血管及び組織等の損傷
- ・疼痛
- ・神経障害
- ・骨折
- ・破損片の体内遺残
- ・本品の使用に際する患者の組織損傷および手術従事者の受傷

【保管方法及び有効期間等】

保管方法

高温多湿及び直射日光を避け、清潔で乾燥した場所で保管する。

【保守・点検に係る事項】

1. 清掃方法

- 1) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに洗浄・消毒し、必要に応じて滅菌する。生理食塩水は孔食やさびの原因となるため浸漬に使用しない。
- 2) 汚染除去に用いる洗浄剤は、洗浄方法に適したものを選択し、その適正濃度と取扱方法を守る。強アルカリ性／強酸性の洗剤・消毒剤は器具を腐食させるおそれがあるので使用を避ける。
- 3) 洗浄にはやわらかいブラシ、スポンジ等を使用し、金属タワシ、クレンザー（磨き粉）等は、器具表面を損傷するので使用を避ける。可動部分は、汚れが残らないよう特に注意して洗浄する。
- 4) ウォッシャー・ディスインフェクター等の洗浄装置で洗浄する場合、可動部分は開放し、必要に応じて分解し、汚れが落ちやすい状態でバスケット等に収納して処理する。
- 5) 仕上げすぎには、精製水・脱イオン水・ろ過水等の使用を推奨する。
- 6) 洗浄後は、腐食防止のために直ちに乾燥させる。
- 7) 滅菌前に器具が清潔で乾燥しており、可動部の動きが適切であることを確認する。
- 8) 「医療現場における滅菌保証のガイドライン 2021」に記載されている高圧蒸気滅菌条件は下表のとおり。

滅菌温度	保持時間
121℃	15 分
126℃	10 分
134℃	3 分

- 9) 「プリオン病感染予防ガイドライン 2020」に記載されている洗浄・滅菌条件は以下のとおり。
洗浄においては、アルカリ洗浄剤を用いて 90-93℃の高温で行う。ウォッシャー・ディスインフェクターの使

用が望ましい。工程を 2 回繰り返すことも推奨される。
滅菌においては、134℃/8-10 分の真空脱気プレバキューム高圧蒸気滅菌を行う。滅菌時間は 18 分に延長することも推奨される。

2. 点検

滅菌前及び使用前に、傷、亀裂、腐食、さび、孔食、変色、汚れ、変形、破損、可動部の動き、各部の緩み等を点検する。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：**村中医療器 株式会社**
TEL：0725-53-5546



製造業者：オルソ-メディカル社 ドイツ
Ortho-Medical GmbH